



第20回 資源循環型肉牛生産シンポジウム2023

WEB  
参加可能

後日希望者へ  
通知

# 脱炭素社会における 資源循環型肉牛生産の 意義と役割

～耕畜連携における肉牛生産を考える～



日時

2023年11月9日(木)  
13:00-17:00

場所

とかちプラザ2階 視聴覚室  
〒080-0014 北海道帯広市西4条南13丁目1

2021年5月に農林水産省が策定した「みどりの食料システム戦略」では、食品産業や機械・資材メーカー等の事業者、消費者など、農業者だけでなく食にかかわるすべての人の連携によって、農林水産業に伴う温室効果ガスの放出や、化石燃料由来の肥料の使用量を減らすといった環境負荷の低減により、環境負荷の低減と農業生産の持続可能性、その両方を高めることを目指している。

一方、2021年から続くウクライナ情勢を契機とした飼料高騰は依然として続いており、長期化の状況にある。2月28日に農林水産省が発表した農業物価指数によると、2020年を100とした指数で飼料価格は149であり、依然として高止まり傾向が続いている。

このような中、耕種部門と畜産部門とが地域農業段階で土地利用・飼料生産や堆肥利用などで連携する耕畜連携が注目されている。飼料作物と堆肥の交換により資源循環型農業が実現でき、地域内での資金循環も可能であるとして、環境負荷低減や農業者への所得向上も期待できるとされている。

本シンポジウムでは2021年にみどりの食料システム戦略、2022年に脱炭素社会における牛肉生産について取り上げ、持続可能な食料生産システムにおける牛肉生産について議論を進めてきた。本年度は肉牛生産における耕畜連携の取り組みについて研究者、生産者など多角的立場からご講演いただき、資源循環型肉牛生産の意義浸透を図りたい。

## 基調講演

「脱炭素社会における堆肥利用を軸とした耕畜連携・資源循環型農業」

農研機構北海道農業研究センター 上級研究員 池田 成志 氏

話題提供1

「北海道子実コーン組合の取り組みについて」

北海道子実コーン組合 技術顧問 小森 鏡紀夫 氏

話題提供2

「アンガス牛による自給飼料中心の牛肉生産」

宮北牧場 宮北 輝 氏

話題提供3

「オーガニックが創る持続的食料供給システム」

ジャパン・オーガニック・コンソーシアム 南楚 幸信 氏

話題提供4

「肉牛専用種枝肉共励会の成績について」

司会：帯広畜産大学 教授 口田 圭吾 氏  
受賞生産者

パネルディスカッション パネラー：講演者、消費者代表

※各講演者の講演内容はタイトルの内容となりますが、講演タイトルは(仮)となります。

## eびーふ食味試験

意見交換会 希望者のみ

日時 11月9日(木) 18:00～

場所 ランチョ・エルパン

参加 参加費 4,000円



## 現地検討会 希望者のみ

日時 11月10日(金) 午前中

場所 宮北牧場および  
北海道子実コーン組合(長沼町)



共催：環境リサイクル肉牛協議会、北海道アンガス牛振興協議会、北海道短角牛振興協議会、北海道オーガニックビーフ振興協議会、帯広市

後援：帯広畜産大学、北海道十勝総合振興局、芽室町農業協同組合、十勝農業協同組合連合会、北海道総合研究機構畜産試験場、北海道酪農畜産協会、NHK 帯広放送局、北海道新聞帯広支社、日本農業新聞北海道支所、十勝毎日新聞社

シンポジウム  
申込み・問合せ先

TEL:0156-64-0624 FAX:0156-64-3212

e-mail: kunishige-kyouko@hro.or.jp (地独)道立総研機構 畜産試験場 肉牛グループ 担当：國重 享子

# 環境リサイクル肉牛協議会の活動

環境リサイクル肉牛協議会は、資源循環型牛肉生産の普及・展開を目的として2008年に特定非営利活動法人に認可されました。飼料自給率30%以上(乾物換算)を達成し堆肥を畑地還元する資源循環型生産体制で生産された肉牛を環境にやさしい生産方式による牛肉として認証するe-ビーふ認証制度を展開し、副産物飼料に関する情報を提供しています。資源循環型牛肉生産シンポジウムでは未利用飼料資源の活用、地域の副産物利用による牛肉生産について生産者、消費者、流通業界および大学・研究機関など多角的立場からの意見交換を行い、資源循環型牛肉生産の意義浸透を図っています。今年も多くの方々にご参加いただき、副産物や自給飼料の活用による牛肉生産について理解を深める機会となることを期待しております。

## プログラム

13:00～ 開会挨拶

13:05～14:20 基調講演「脱炭素社会における堆肥利用を軸とした耕畜連携・資源循環型農業」  
農研機構北海道農業研究センター 上級研究員 池田 成志 氏

14:30～14:55 話題提供1「北海道子実コーン組合の取り組みについて」  
北海道子実コーン組合 技術顧問 小森 鏡紀夫 氏

14:55～15:20 話題提供2「アンガス牛による自給飼料中心の牛肉生産」  
宮北牧場 宮北 輝 氏

15:30～15:55 話題提供3「オーガニックが創る持続的食料供給システム」  
ジャパン・オーガニック・コンソーシアム 南埜 幸信 氏

15:55～16:20 話題提供4「肉牛専用種枝肉共励会の成績について」  
司会：帯広畜産大学 教授 口田 圭吾 氏  
受賞生産者

16:20～17:00 パネルディスカッション

パネラー：講演者、消費者代表

17:00～ 閉会挨拶

eビーふ食味試験・意見交換会(希望者のみ)

日時 11月9日(木) 18:00

場所 ランチョ・エルパソ 参加 参加費4,000円

現地検討会(希望者のみ)

日時 11月10日(金) 午前中

場所 宮北牧場および北海道子実コーン組合(長沼町)

## 参加申込書

締切期限

11月2日(木)

参加される方は、FAXまたはE-mailで必要事項を記入の上お申し込みください。

道立総研機構畜産試験場肉牛グループ 担当：國重 享子

FAX送付先 0156-64-3212 E-MAIL: kunishige-kyouko@hro.or.jp

氏名	連絡先(TEL)	E-mail	シンポジウム	WEB	意見交換会	現地討論